

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和2年9月18日(金曜日)
-----	----------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー	大井、吉村、木村、坂本、佐々木、田野、野原、工藤、榊、三浦、大竹口、黒田、山本、氏家、
------	---

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	1	10	2	1	14
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	6	7	1	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	7	6	1	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	8	5	1	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	7	5	2	0	14

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
<ul style="list-style-type: none"> 新規の利用者については、ケアプランができた時点で早急に介護計画書を作る業務上の流れを作り、その情報をミーティング等で周知し、職員全員が把握できるようにしていく。 	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	B おおむねできている
<ul style="list-style-type: none"> 新規利用者の介護計画書を早めに作成するようにしている。 新規利用者がサービスを始める前に情報をプリントに記入して見やすいようにし、ミーティングで把握できるようにしている。 	
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
<ul style="list-style-type: none"> ケアプランに沿って実施し、わからない点はケアマネに聞きながら他のスタッフにもわかるように記録に残している。 新規利用者の事前の訪問で、不足している情報を利用者について知るためのノートに記入している。 	

④ 前回の改善計画に対する取組み結果
について、できていない点

- ・ 疑問に思う事をその場で確認せず、業務を優先して、ケアマネへの相談・確認を忘れてしまうことがある。
- ・ 利用開始に新規利用者の情報が間に合わないことがあった。
- ・ 情報が変更になった時、日報を読まない為に対応できないことがあった。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必
要な点

- ・ 業務に追われ、個々の利用者の把握が不十分で、周りが見えておらず配慮に欠けることがある。
- ・ 新規利用者のリロケーションダメージ（環境が変わることによる心身への悪影響）に配慮している職員とあまりかかわらない職員との差がある。
- ・ 本人より家族の希望を優先してしまう。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画 ※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・ 連携したケアマネジメント体制づくりのため、担当職員を交えたモニタリングを月に1度行いスタッフ会議などで、目標に対しての取組みを振り返る機会をつくる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月18日(金曜日)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 大井、吉村、木村、坂本、佐々木、田野、野原、工藤、榊、三浦、大竹口、黒田、山本、氏家

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	11	1	1	14
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	5	6	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	7	5	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	8	5	0	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	10	2	0	14

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	・利用者の担当職員だけに関わりを任せるのではなく、会議(全体のものだけではなく、ミーティングや打ち合わせ等含む)などで頻繁に情報を共有し、全員が利用者の方々に対して統一した関わりができるようにしていく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	B おおむねできている ・一人一人の利用者が何をしたら表に書き出してわかるようにしている。 ・ミーティングや日報などでその日の出来事や個々の利用者についての情報共有ができるよう、職員全員が努めている。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	・全職員が利用者の家族に関わる機会を持つようにしている。 ・担当職員に任せきりになるのではなく、情報を共有し統一した関わりができるようになっている。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	・時間がたつごとに「聞いていない、知らない」ということが発生し、統一性がなくなっていることがあ

る。

- ・ 職員各自で「こうしたほうが良い」と思って関わり、そのことを共有していない為、統一した関わりができていないことがある。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点

- ・ 目標がわからないままになっていて、利用者本人ができる部分も支援の中で手を貸してしまうことがある。
- ・ 担当職員になっても人任せになっている場合がある。
- ・ 些細な話し合いでも決定したことや気づいた事を他の職員にも知らせる。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画 ※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・ 初期支援やケアプラン変更時には、日報などにケアプランができたことを知らせ、目標(～したいこと)が職員に統一的にわかるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和2年9月18日(金曜日)
-----	----------------

3. 日常生活の支援

メンバー	大井、吉村、木村、坂本、佐々木、田野、野原、工藤、榎、三浦、大竹口、黒田、山本、氏家
------	--

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	3	9	2	0	14
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	3	4	5	2	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	7	7	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	4	8	2	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	7	7	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	4	9	1	0	14

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者情報についての報告を受けた時点で、すぐに職員間で共有し、改善策を見出していく。 ・職員が不安を抱えたまま介護に携わることがないように、また、統一した質の介護サービスが提供できるよう改善策を検討して、実践していく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	<p>B おおむねできている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケア方法の変更など記録に残し確認するという流れを作り、職員が確認をするようになっている。 ・ヒヤリハットがあった時など、職員が不安を抱えたままにならないように早く対応策を考え実践している。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	

- ・ ヒヤリハットの報告があった時すぐに改善策を出し、朝のミーティングや申し送りや記録に残し情報を共有している。
- ・ 利用者の体調等に問題があった場合、報告し改善策を検討している。

④ 前回の改善計画に対する取組み結果
について、できていない点

- ・ 情報が伝わっていない時があり、統一された介護サービスの提供ができていない時があった。
- ・ 利用者に対応する職員が固定化されている。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必
要な点

- ・ 業務に追われゆっくり利用者とは対話する時間が無いことがある。
- ・ 声掛けに気をつけなければならない利用者に対して注意が足りていない。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画 ※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・ 利用者に対応する職員が固定化されないように、全員でバランスよく関わるようにしていく。
- ・ 以前の暮らしについてなど、ゆっくりと利用者とは会話する時間をつくる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和2年9月18日(金曜日)
-----	----------------

4. 地域での暮らしの支援

メンバー	大井、吉村、木村、坂本、佐々木、田野、野原、工藤、榊、三浦、大竹口、黒田、山本、氏家
------	--

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	3	8	1	14
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	7	4	1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	4	5	1	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	5	6	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	4	6	2	14

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 職員全員が利用者の暮らしている地域の民生委員、自治会長、友達などの繋がりを把握していく。 緊急時に活用できるエコマップの作成を検討していく。 ※ エコマップとは、利用者を中心として、その周辺にある社会資源(家族、友人、近隣住民、医師、各種介護関連機関など)との相関関係を、ネットワークとして表現した図のこと。 利用者の体調の状態により外の行事に参加できない場合、外部の団体等において清流の里に来てイベントをしていただくことで、利用者を楽しんでいただくようにする。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	B おおむねできている <ul style="list-style-type: none"> 緊急時に活用できるように、エコマップを作成途中。 コロナ影響の前は、民謡や認定こども園との交流もあり、楽しまれていた。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議や広報を通じて、少しずつ地域の方々に対する理解が深まっている(顔と名前を覚える等)。 コロナの影響で地域を交えた交流が中止になったが、規模を縮小しコロナ対策を踏まえ、清流の里独自

のお祭りや夢叶えを行っている。

④ 前回の改善計画に対する取組み結果
について、できていない点

- ・ 民生委員等については、職員全員はまだ十分に把握できていない。
- ・ コロナの影響も有り、地域との関わりが減っている。
- ・ エコマップを十分に作成できていない。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必
要な点

- ・ 利用者の相関関係のエコマップを作り上げ、職員に情報共有する。
- ・ マスク着用・消毒し、地域の方と安心して交流ができるようにしていく。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画 ※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・ コロナ対策をしつつ地域の方を交えたイベントが安心して行えるようにしていく。
- ・ 民生委員や地域の資源に職員みんなに関わるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和2年9月18日(金曜日)
-----	----------------

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー	大井、吉村、木村、坂本、佐々木、田野、野原、工藤、榊、三浦、大竹口、黒田、山本、氏家
------	--

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	4	7	3	0	14
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	4	9	1	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	7	7	0	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	6	8	0	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	7	7	0	0	14

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 研修委員が中心となり、多くの職員が研修に参加し、知識・技術の向上に努め、研修参加で学んだことを参加していない職員に教えられるような場を作る。 オレンジカフェを定期的実施することで地域との関わりは多くなっているが、その内容については今後も検討と工夫を重ねていく。 <p>※オレンジカフェとは、認知症について正しい知識を学び、地域の力で認知症の方々とその家族を支え合うことを目的とした集まり。参加対象者は、当事者や興味のある方であればどなたでも参加できる。</p>
② 前回の改善計画に対する取組み結果	B おおむねできている
	<ul style="list-style-type: none"> 研修委員の研修への参加の呼びかけで参加者が増えている。 会議や書面により、研修で学んだことを報告している。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ 研修等に参加した方が職員に学んだこと話すようになり、分からない点は聞くようになった。

④ 前回の改善計画に対する取組み結果
について、できていない点

- ・ オレンジカフェによる地域での関わりはコロナの影響でできなかった。
- ・ 「自由参加」のためか、職員によって研修参加への意欲にバラつきがある

Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必
要な点

- ・ 長期の泊まりの場になりつつある。利用者の通い人数がいっぱい、ニーズに応えきれていない。
- ・ 地域の資源の支援を使いこなせていない。地域の資源をまだ十分に把握していない。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画 ※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・ コロナの予防や消毒を継続しながら、安心して参加できるオレンジカフェを開催していく。
- ・ 利用者が長期の泊まりの場にならないように、提供するサービス内容を検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月18日(金曜日)

6. 連携・協働

メンバー 大井、吉村、木村、坂本、佐々木、田野、野原、工藤、榊、三浦、大竹口、黒田、山本、氏家

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	4	7	2	14
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	5	2	4	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	5	6	0	3	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	6	3	4	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	6	3	4	14

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ オレンジカフェの開催について、効果的に地域に周知する方法を考えていく。 ・ 外部諸会議に参加する職員が限られている（担当者会議等）ので、会議等で得た情報を共有していく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	<p>B おおむねできている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オレンジカフェは、町内会に回覧板と同時に個別におたよりを配布し、地域の福祉部への声掛けをしている。 ・ 会議は、交代で参加するようにしている。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当者会議や管理者会議で得た情報を書面やスタッフ会議で報告し共有している。 ・ オレンジカフェは回覧板や個別に周知できている、地域福祉部は毎回参加いただき、協力してくれた。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・ オレンジカフェはコロナの影響により開催できなかった。 ・ 担当者会議等の情報を共有している人は一部でばらつきがあった。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I－①～④、及びその他について改善が必要な点

- ・ オレンジカフェは町内市街地に1ヶ所（清流の里）でしか開催されていない。周知方法によっては、現スタッフでは対応しきれないので、今後は町の担当者と協議をしていく必要がある。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画 ※Ⅱ－④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・ コロナの影響でイベントなど地域との交流の場が中止になってしまった。今後もこのような状況が続くのであればオンラインやビデオでの子供達のふれあいの機会を作っていく。

事－⑥

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和2年9月18日(金曜日)
-----	----------------

7. 運営

メンバー	大井、吉村、木村、坂本、佐々木、田野、野原、工藤、榎、三浦、大竹口、黒田、山本、氏家
------	--

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2	9	3	0	14
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	8	4	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	7	2	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	8	1	1	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	3	8	2	1	14

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 契約やモニタリングの時などに、利用者や家族等に担当ケアマネについて知ってもらい、相談しやすい環境づくりに努める。 本事業所が地域の困り事や相談の窓口であることについて、おたより等に載せて地域の方知ってもらう。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	B おおむねできている <ul style="list-style-type: none"> 契約時には、必ずケアマネが参加して、利用者本人やご家族と顔合わせしている。 地域の困りごと相談受付していることを玄関先のボードやおたよりに記載している。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の家族が来所時、特にケアマネは進んで会話することで名前も覚えてもらえている。 地域の困りごと相談の窓口であることをおたより等に記載している。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果	

について、できていない点

- ・ 異動してきた職員と利用者、家族、地域との関係性ができていない。
- ・ リーダー役の職員（管理者～主任・副主任）は、他の職員から上がってくる意見に対応しきれていない部分がある。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I－①～④、及びその他について改善が必要な点

- ・ 清流の里として知ってもらえているが、町民が困りごとを相談に来る拠点としての役割や機能を十分に発揮できていない。
- ・ コロナの影響もあり、オレンジカフェもなく地域との関わりが少なかった。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画 ※Ⅱ－④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・ あいの里交流センターの職員とも協力し、チーム全員で地域の方から気軽に相談できる場所にしていかなければならない。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月18日(金曜日)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 大井、吉村、木村、坂本、佐々木、田野、野原、工藤、榊、三浦、大竹口、黒田、山本、氏家

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3	11	0	0	14
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6	7	1	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	4	5	0	14
③	地域連絡会に参加していますか	3	5	2	4	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	11	1	0	14

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 研修参加者は、学んだ内容についてスタッフ会議などで報告する。 ヒヤリハットの事例があった場合は、早急に報告書を作り、改善策を考えていく。また、毎日のミーティングで報告し、報告された内容について回覧を作成し、全員が見るようにする。 スキルアップ研修への参加の重要性・必要性を理解するために、各自の課題について振り返り、整理した上で、研修計画を作成する。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	B おおむねできている
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> 研修の参加者は、スタッフ会議で報告するようにしている。 ヒヤリハット報告書をすぐに作成し改善策を考えている。 研修の参加者は職員全体で去年より増えている。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットの報告書を細かく出すようになり、気づきも増え報告数が圧倒的に増えた。 個人で研修計画をたて研修に参加している。
	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修に意欲のあるスタッフが参加できる機会がもっとあればよい、スキルアップしたいと思ってい

る職員が多い。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点

- ・ ヒヤリハットで同じことが続いている。大きな事故には繋がらないが、減らないので改善に向けて具体策を明確にする。
- ・ 研修で学んだ内容をスタッフ会議で報告をする。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画 ※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・ ヒヤリハットの改善策は管理者、ケアマネ、担当職員で具体的にあげ、ミーティングや会議で報告し、それで良いか話し合い決定する。決定したことは、日報などに記録し共有する。
- ・ 研修でスタッフが知っておいた方が良い情報は、スタッフ会議で報告する。回覧で良いものは、職員の見たチェックを入れてもらう。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年9月18日(金曜日)

9. 人権・プライバシー

メンバー 大井、吉村、木村、坂本、佐々木、田野、野原、工藤、榊、三浦、大竹口、黒田、山本、氏家

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3	7	3	1	14
①	身体拘束をしていない	14	0	0	0	14
②	虐待は行われていない	13	1	0	0	14
③	プライバシーが守られている	9	4	1	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	12	1	1	0	14
⑤	適正な個人情報の管理ができてい る	10	4	0	0	14

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の休憩時間帯に利用者に関わる職員の数について、現状より増員を考える。 ・ 個人情報の取り扱いについては、引き続き注意をしていく。特に職員間の会話を通じて利用者の耳に入ることが無いように配慮する。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	<p>B おおむねできている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休憩時間帯利用者に関わる職員の数は足りているが対応する職員が同じ職員だったり、かたよりがみられる。そのため職員の増員をしなくても、適切な人員配置により対応することができた。
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休憩時間の職員数は足りている。 ・ 個人情報の保管場所を確保し、管理ができています。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の数は足りているが、パート職員ばかりの時があり、ホールに常勤職員がいない時があった。 ・ 利用者の前で他の利用者に関する話をしている場面があり、休憩時間大きな声で会話され利用者に聞か

れているのではないかとと思われることがあった。

Ⅲ. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点

- ・ 休憩時間を検討する事で平等に休むことができる。休憩室があると良い。
- ・ 職員の大きな声でプライバシーが守られていない場面が多くあった。

Ⅳ. 次回までの具体的な改善計画 ※Ⅱ-④、Ⅲを中心に導き出した結果

- ・ ホール担当を2人に決める。休憩時間を14時からとし14時から15時リーダーがホールにいる。台所へ行く時は声を掛け合うようにしホールに職員が0にならないようにする。
- ・ 人権、プライバシーに関する会話は利用者の前でしないお互い注意し合うようにする。

事-⑨

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

※ 「A. 事業所自己評価の確認」については、割愛いたします。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目 ^{地②-1}	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8		1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？ <i>(気軽に入り易い構え、案内、雰囲気などになっているか)</i>	9		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？ <i>(あなたから見て、「利用者の居心地がいい空間」となっていると感じるか)</i>	7		2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？ <i>(事業所から出る不快な音や臭いがないか) (なければ「はい」をチェック)</i>	8		1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？ <i>(事業所の正面玄関に鍵がかかっているか) (なければ「はい」をチェック)</i>	8		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

新型コロナウイルス感染症の影響により、取り組み状況についてわからない部分が多いが、事業所の広報や運営推進会議等で報告されていることから、おおむね良好に取り組んでいる。

【前回の改善計画】

前回の評価を受け、入口を入ってすぐの場所に「清流の里」「あいの里交流センター」の場所がわかる案内板を取り付けたが、それだけではなく、来客時には職員（特にあいの里交流センター職員）から積極的に用件をうかがう等の働きかけを行なうようにする。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

特になし。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・引き続き、感染防止対策を徹底する。
- ・清流の里（介護事業所）とあいの里（地域交流センター）への入口がわかりにくい場合があるため、引き続き、来客時には職員から積極的に用件をうかがう等、積極的な働きかけを行なうようにする。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		2
1	職員はあいさつできていますか？ (利用者やその家族、来客等に対し、きちんとあいさつができていると思うか)	8		1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？ (地域＝本別市街地区の町民におおむね知られていると考えられるか)	7	1	1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？ (地域住民が日常の困りごと等を気軽に相談できる事業所になっているか)	6	2	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？ (事業所が自治会の一員として、清流町自治会の行事等に参加しているか)	4		5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

新型コロナウイルス感染症の影響により、行事が開催できなかつたので、地域交流の機会が減少したのはやむを得ない。

今後は、コロナ禍においてどのように地域と繋がっていくかを検討する必要がある。

【前回の改善計画】

地域の方々と「顔つなぎ」ができるように、事業所の職員も従来以上に集まりに参加して、地域の方々が気軽に困りごとを相談しやすい関係性を作っていく。

介護相談以外の困りごと相談を受ける拠点として機能を従来以上にPRし、相談対応の具体的な流れ（誰に相談すればよいか等）を明確に示すことができるようにする。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

誰も経験したことのないコロナ禍において、事業所と地域との交流は大きな検討課題になった。

従来、「人が集まる」ことで成立していた行事については大きく見直す必要がある。

【改善計画】※後日記入

感染防止対策を講じながら、地域との交流を継続していくための方法について、協議・検討を重ね、地域と事業所のつながりが途切れないようにする。

行事ができなければ、事業所の広報等（清流の里便り）を活用して、事業所の取り組みを周知していく等、代替案を検討する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？ (利用者に出向きの機会があり、地域住民と会った時にふれあえる機会があるか)	6	1	2
2	利用者本人が住んでいる地域清流町自治会の方を交えた会議が行われていますか？	6		3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？ (利用者が自治会の一員として、清流町自治会の行事等に参加しているか)	3	2	4
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？ (困りごとを抱えた地域住民に、事業所として相談を受ける体制が整っていることが周知されていますか)	5	2	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

Cと同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域との交流機会が大きく減少した。

【前回の改善計画】

引き続き、地域住民に対して困りごと全般の相談窓口機能を持つ事業所として認知・理解してもらえるよう、さまざまな手段を用いて積極的なPRを行なう。

引き続き、地域で開催されるさまざまな行事等に、利用者と職員が参加し、事業所だけではなく「人」や「顔」がつながり、事業所が相談しやすい場になるよう努める。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

コロナ禍において、利用者が地域行事に参加することも、地域住民が事業所に入ることも、従来と比べて非常に厳しい状況になっている。

【改善計画】※後日記入

感染防止対策を講じながら、事業所と地域をどのようにつなげるかを継続的に協議・検討する。

地域との交流の機会が減ったとしても、代替として広報等によって事業所の役割や取り組みについて継続的に発信し、PRしていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8		1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？ (事業所の状況や取組、イベント等が説明・報告されているか)	9		
2	運営推進会議では、地域の心配な方等の事例検討が行われていますか？ (清流町自治会又は市街地区から寄せられた事例の内、推進会議で解決できる事例について検討されているか、又は関連機関へ相談が繋がれているか)	9		
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？ (推進会議と清流町自治会又は周辺自治会が連携し、イベントや行事等の取組を共に行える体制となっているか。)	8	1	
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	9		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で人が集まることをできるだけ避けねばならず、運営推進会議も書面開催にせざるを得ない状況が続いた。そのため、従来であれば運営推進委員の協力を得ながら地域交流行事を開催しているが、今年度は実施できなかった。

【前回の改善計画】

引き続き、運営推進会議委員の皆様には、事業所の行事等に参加していただく（行事の内容についてわかりやすく説明する）ように努める。

引き続き、地域の課題（困りごと）や利用者の状況について、個人情報取り扱いに十分に配慮した上で、運営推進会議で共有できるようにする。

外部評価の結果をわかりやすく示す方法について、従来の公表方法も含めて検討する。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

コロナ禍において、人が集まること（特に「三密」の状態）を避けなければならない状況である。しかし、このように厳しい状況下においても、運営推進委員と事業所と地域のつながりが途切れないように検討と協議を重ねていかなければならない。

【改善計画】※後日記入

人が集まることや、会合することが難しいコロナ禍においても、運営推進委員の方々と協力しながら介護サービスの提供と地域課題への取組みを実施する方法について、協議・検討を重ねていく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8		1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？ （事業所の非常災害対策計画が整備され、内容を知っているか）	5	3	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？ （事業所が清流町自治会の（又は清流町自治会を含む）防災訓練に参加しているか）	6		3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？ （あなたが事業所の防災訓練に参加した（又は参加の案内を受けた）ことがあるか）	3	5	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？ （災害時に最低限の責務（利用者・訪問者の安全の確保）を全うできそうか）	7		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

事業所だけの実施であっても、避難訓練ができたのは良かった。
 コロナの影響もあるので人が集まるのが難しいが、防災と災害対策については継続して欲しい。

【前回の改善計画】

引き続き、災害等、有事のための備蓄については継続していく。
 引き続き、清流町自治会の協力を得ながら行なった避難訓練について、さらに協働できる事項については随時、協議・整理していく。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

コロナ禍において、地域と合同で避難訓練は難しいと思うが、事業所単体でも避難訓練は実施した方が良い。

【改善計画】※後日記入

コロナ禍という厳しい状況ではあるが災害等はいつでも起こり得るため、防災・災害対策については、下記の通り、従来の取り組みを継続する。
 引き続き、災害等、有事のための備蓄については継続していく。
 引き続き、清流町自治会の協力を得ながら行なった避難訓練について、さらに協働できる事項については随時、協議・整理していく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 本別町社会福祉協議会	代表者	会長 砂原 勝	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・同建物内に地域交流施設があり、利用者は知人との繋がりが持てる。 ・地域自治会に参加しており、年2回地域交流事業を実施したり、災害時の避難訓練を合同で実施。 ・利用者一人一人の夢をかなえるため、職員は利用者に寄りそった介護ができています。 ・障がい者（児）の基準該当短期入所サービス受け入れの実施。
事業所名	本別北小規模多機能型 居宅介護事業所 「清流の里」	管理者	大井正栄		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	5人	人	1人	1人	人	人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所自己評価について、「評価を受けてどのように改善したのか」を読み取りやすく作り変える。 ・より具体化（数値化・見える化）できる部分を整理し、達成度が測りやすく、伝わりやすくなるようにする。 	<p>B～Fの項目と違って、事業所でどのように自分たち（自事業所）を評価したかについての評価になるため、B～Fと混同しないようにAの項目については別に意見を募る程度の位置づけとした。</p>	<p>B～Fの項目と違って、事業所でどのように自分たち（自事業所）を評価したかについての評価になるため、B～Fと混同しないようにAの項目については別に意見を募る程度で良い。</p>	<p>Aの項目については今後も事業所自己評価については、運営推進委員に周知した上で意見を募る。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>前回の評価を受け、入口を入ってすぐの場所に「清流の里」「あいの里交流センター」の場所がわかる案内板を取り付けたが、それだけではなく、来客時には職員から積極的に用件をうかがう等の働きかけを行なうようにする。</p>	<p>玄関の案内板の他に、入口がわかるように矢印のシールもついてわかりやすくなった。</p> <p>来客時、あいの里交流センターの職員から清流の里に声をかけてくれるようになった。</p> <p>最近ではコロナの影響もあり、インターホンを使う来客が増えたので、その場合は清流の里職員が対応している。</p> <p>コロナの影響で面会が制限される中、玄関先での対応が今後は多くなると考えられる。そのため、来客対応については、今後もあいの里交流センター職員と連携・協力し合うことが必要である。</p> <p>また、本別町社協として、タブレ</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、取り組み状況についてわからない部分が多いが、事業所の広報や運営推進会議等で報告されていることから、おおむね良好に取り組んでいる。</p>	<p>引き続き、感染防止対策を徹底する。</p> <p>清流の里（介護事業所）とあいの里（地域交流センター）への入口がわかりにくい場合があるため、引き続き、来客時には職員から積極的に用件をうかがう等、積極的な働きかけを行なうようにする。</p>

		ット等を各事業所に導入し、オンラインでの面会ができるようにした。		
C. 事業所と地域のかかわり	<p>地域の方々と「顔つなぎ」ができるように、事業所の職員も従来以上に集まりに参加して、地域の方々が気軽に困りごとを相談しやすい関係性を作っていく。介護相談以外の困りごと相談を受ける拠点として機能を従来以上にPRし、相談対応の具体的な流れ（誰に相談すればよいか等）を明確に示すことができるようにする。</p>	<p>今年度は、コロナの影響で、地域との交流行事を開催することができなかった。玄関先のボードに困りごとの相談を受ける旨を書くようにしている。運営推進会議では、地域の困りごとが挙がるようになっている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、行事が開催できなかったため、地域交流の機会が減少したのはやむを得ない。今後は、コロナ禍においてどのように地域と繋がっていくかを検討する必要がある。誰も経験したことのないコロナ禍において、事業所と地域との交流は大きな検討課題になった。従来、「人が集まる」ことで成立していた行事については大きく見直す必要がある。</p>	<p>感染防止対策を講じながら、地域との交流を継続していくための方法について、協議・検討を重ね、地域と事業所のつながりが途切れないようにする。行事ができなければ、事業所の広報等（清流の里便り）を活用して、事業所の取り組みを周知していく等、代替案を検討する。</p>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<p>地域の方々と「顔つなぎ」ができるように、事業所の職員も従来以上に集まりに参加して、地域の方々が気軽に困りごとを相談しやすい関係性を作っていく。介護相談以外の困りごと相談を受ける拠点として機能を従来以上にPRし、相談対応の具体的な流れ（誰に相談すればよいか等）を明確に示すことができるようにする。</p>	<p>運営推進会議や広報等を通じて、地域の方々に対する理解が深まっている（顔と名前を覚える等）。地域で開催される行事等に利用者と一緒に参加することになっていたが、今年はコロナの影響で地域の行事に参加することも、清流の里の行事に来ていただくこともできていない。コロナの影響で、例年より地域との交流の機会が激減しているため、清流の里のお便りや、社協だより等を使って、今まで以上に積極的に事業所のPRしていく必要性が出てきた。</p>	<p>Cと同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域との交流機会が大きく減少した。コロナ禍において、利用者が地域行事に参加することも、地域住民が事業所に入ることも、従来と比べて非常に厳しい状況になっている。</p>	<p>感染防止対策を講じながら、事業所と地域をどのようにつなげるかを継続的に協議・検討する。地域との交流の機会が減ったとしても、代替として広報等によって事業所の役割や取り組みについて継続的に発信し、PRしていく。</p>

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>引き続き、運営推進会議委員の皆様には、事業所の行事等に参加していただく（行事の内容についてわかりやすく説明する）ように努める。</p> <p>引き続き、地域の課題（困りごと）や利用者の状況について、個人情報取り扱いに十分に配慮した上で、運営推進会議で共有できるようにする。</p> <p>外部評価の結果をわかりやすく示す方法について、従来の公表方法も含めて検討する。</p>	<p>運営推進委員の皆さまは例年、清流の里の行事に参加してくれているが、今年度については行事開催のコロナ対策のため、外部の人の参加を厳しく制限せざるを得なかったため、委員の皆さまの参加は見合わせた。</p>	<p>令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で人が集まることをできるだけ避けねばならず、運営推進会議も書面開催にせざるを得ない状況が続いた。そのため、従来であれば運営推進委員の協力を得ながら地域交流行事を開催しているが、今年度は実施できなかった。</p> <p>コロナ禍において、人が集まること（特に「三密」の状態）を避けなければならない状況である。しかし、このように厳しい状況下においても、運営推進委員と事業所と地域のつながりが途切れないように検討と協議を重ねていかなければならない。</p>	<p>人が集まることや、会合することが難しいコロナ禍においても、運営推進委員の方々と協力しながら介護サービスの提供と地域課題への取り組みを実施する方法について、協議・検討を重ねていく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>引き続き、災害等、有事のための備蓄については継続していく。</p> <p>引き続き、清流町自治会の協力を得ながら行なった避難訓練については、さらに協働できる事項については随時、協議・整理していく。</p>	<p>今年は災害に備え、日清医療食品（清流の里とデイサービスの調理を委託している会社）の協力も得て、3日分の食料は備蓄されている。</p> <p>感染症対策としても、必要物品を備蓄している。</p> <p>年2回は避難訓練を実施している。例年は自治会の協力を得て実施しているが、今年度については、コロナの影響で清流の里のみで実施。</p>	<p>事業所だけの実施であっても、避難訓練ができたのは良かった。</p> <p>コロナの影響もあるので人が集まるのが難しいが、防災と災害対策については継続して欲しい。</p> <p>コロナ禍において、地域と合同で避難訓練は難しいと思うが、事業所単体でも避難訓練は実施した方が良い。</p>	<p>コロナ禍という厳しい状況ではあるが災害等はいつでも起こり得るため、防災・災害対策については、下記の通り、従来の取り組みを継続する。</p> <p>引き続き、災害等、有事のための備蓄については継続していく。</p> <p>引き続き、清流町自治会の協力を得ながら行なった避難訓練については随時、協議・整理していく。</p>